

X線CTスキャンで見えるもの、見えないもの：CTスキャンの解説と活用、保有設備の紹介

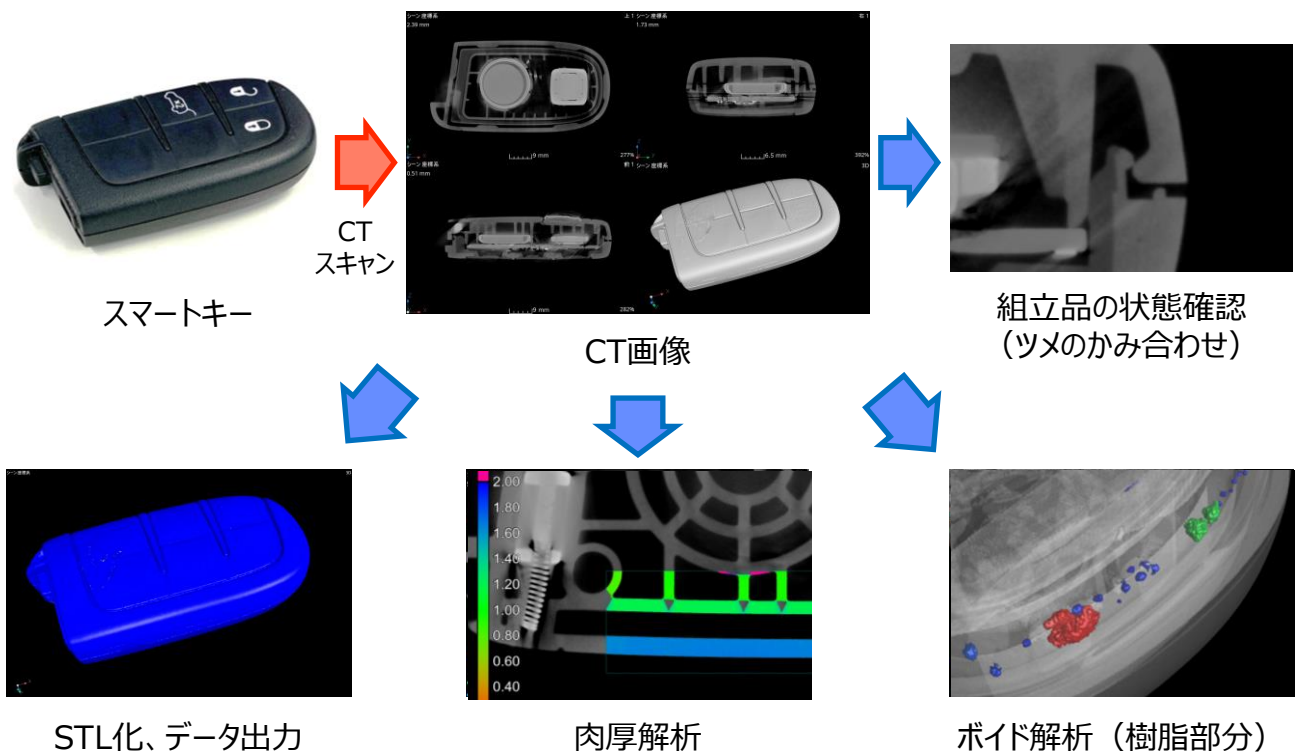
技術開発支援

計測分析技術グループ 竹澤 勉
TEL 03-5530-2646

特徴

X線CTスキャンでは、物体の内部を非破壊で観察することができます。内部断層画像の観察による不良解析や組立部品の状態確認をはじめ、ポイド・異物解析、肉厚測定や寸法測定、STLデータ出力を行うことができます。

● X線CTスキャンの活用例（自動車のスマートキー）



X線CTスキャンの優位性

- サンプルを破壊せず、そのまま非破壊で観察
- 内部観察ができる数少ない装置
- 研磨→写真撮影を繰り返す断層観察に比べ、時間の大幅短縮が可能。1000枚以上の断層画像出力も可能

本案件に関する文献・資料

- [TIRI NEWS 2017年11月号,「X線CT装置」, P.8-9](#)
- [2016年度版技術シーズ集,「X線CT装置を用いた寸法測定評価」, P.25](#)

今後の展開

- CT画像解析による不良解析や品質管理への適応
- 解析データの見やすさ・表現力の向上に向けた可視化

研究員からのひとこと

対象物を非破壊で観察できるのが最大の魅力になります。とはいえ、観察上の制限がありますので、ちょっとした疑問でもご質問（技術相談）ください。お待ちしております。